



2025年5月7日

日本鉄道労働組合連合会

浜野よしふみ参議院議員

環境委員会で鉄道における鹿被害について質疑!



J R 連 合 「21 世 紀 の 鉄 道 を 考 え る 議 員 フォーラム」 に 所 属 す る 浜野よしふみ参議院議員 は 4 月 17 日、参議院環境委員会の鳥獣保護法改正審議 において、積年の課題である鉄道における鹿被害について質疑 を 行 っ た。

浜野議員は冒頭、鹿等による各種獣害が深刻であることを踏まえ、浅尾慶一郎環境大臣に対し、「国は危機感をもって鹿等の捕獲事業強化を進めていくべき」と指摘。さらに、「鹿と列車との衝突事象」が多いJRの各路線名等にも言及の上、「鹿生息数の適正水準の維持は国や自治体の責務であることを踏まえ、衝突事象削減は事業者任せにせず、国と自治体が積極的に関与していくべき」と指摘した。

環境省、鹿管理計画ガイドラインの改訂において鉄道被害内容の拡充を明言

これに対し、国土交通省の政府参考人の答弁は、「衝突事象の減少に向け、鉄道事業者が実施している対策を共有する場を設定している」旨の内容に留まった。



その上で浜野議員が、環境省策定の鹿管理計画に係る自治体向けガイドラインにおいて鉄道被害の内容を拡充すべきではないかと主張したところ、環境省の政府参考人からは、「ご指摘を踏まえ、被害の最新情報を改訂ガイドライン（R7年度末）に盛り込み、都道府県の管理計画において管理目標等として設定されるよう周知していく」旨の答弁を引き出した。

今回、鉄道の鹿被害にも行政側が関与する方向性が見出されたことは大きな成果だ。これが実効性ある政策となるよう引き続き動向を注視していく。